



はじめに

昨年までの世界的な原油及び穀類価格の高騰を反映し、酪農分野においてはより一層の自給飼料に立脚した「飼料自給率の高い」経営が求められています。

根室管内においては、道営や公社営の草地開発整備事業等により牧草地の整備が進み酪農・肉用牛生産を支える豊かな基盤となっています。

この整備された基盤・牧草地を活かし「土地面積当たりの牛が採食する栄養自給量」を高めることが生産者や関係する機関に求められています。このためにサイレージの踏圧法の改善など調製技術の進展、コントラクタやTMRセンター等の管理・収穫支援組織の整備が進んでいます。

一方、自給飼料の原料となる牧草地には改善すべき課題があります。その1つが「草地の植生」です。サイレージによる養分自給率を高めるためには草地の植生を改善することが必須です。特にシバムギやリードカナリーグラス等の地下茎イネ科植物等が侵入・繁茂しているほ場が多く見受けられ改善が必要です。

近年、このような草地の植生改善の手法として「簡易更新技術」が作業機械の進展と相まって関心が高まり、取り組み事例も増加しつつあります。この資料が管内の飼料自給率向上の一助になれば幸いです。

も く じ

I 根室管内の草地雑草とその影響	1
1 植生の現状 ～かなりしぶといシバムギとリード～	1
2 雑草の特性とサイレージ品質への影響	1
II 更新時の雑草対策	2
1 更新前の雑草対策 ～雑草の種類を考慮し、的確な処理を！～	2
2 更新後の雑草対策 ～雑草に負けない牧草を育てる！～	3
III 簡易更新による植生改善	6
1 簡易更新とは ～簡易更新ってなんだろう？～	6
2 簡易更新の種類別方法 ～特性を知ってうまく活用～	9
3 簡易更新の事例	15
4 参考資料 簡易草地更新機の特徴比較表	19